

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・各商店街で週末ごとに中心街の公園でイベントを実施したため、かなりの来客数が増えた。また、夕方には学校帰りの学生を中心に、来客数が戻ってきている。
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・以前はほとんどなかった企業からの大口の注文が増加している。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・化粧品において、多くはないが3万円程度の高額なクリームが売れ始めている。また、紳士服有名ブランドでは、一時期は修理の依頼が多かったが、最近は修理が減り、新品を求める方が増えている。高額なブランド商品においても、以前は購入決定までに時間がかかることが多かったが、最近は即決する人が増えている。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・デジタル商品を中心に、非常に来客数が多く、客が商品を購入する比率も上がっている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・個人・グループの国内外への旅行相談や予約が多く、国内航空券の売上は前年比で増加している。海外旅行も東南アジアを除いて、ハワイ、ヨーロッパを中心に前年より件数は増えており、団体旅行の売上も前年比で増加している。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・予約状況が非常に良く、前年に比べ来客数は増加している。
	変わらない	商店街（代表者）	それ以外	・商店街の核である大型スーパーの撤退があり、明るい材料がない。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・前年に比べ来客数、売上高共に若干下回っている。高額商品は、前年を大きく上回り、紳士関連商品も前年増となったが、婦人服、ハンドバックなどやブランド商品が前年割れとなっている。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・高額商品が良く売れ、客単価は上昇しているが、大衆向け商品の売上はかなり減少している。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・衣料品は堅調に推移しているが、宝飾など的高額品は、特殊なブランドを除き依然として厳しい状態が続いている。
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・来客数はほぼ前年並みであるが、客単価は前年比で3%減少している。特に、紳士衣料、肌着関係、インテリア関連、食品では青果の落ち込みが大きい。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・天候に恵まれたこともあり、前年と同等の来客数と客単価を確保できたが、客からは今ひとつボーナスに期待が持てないという声が多い。
		家電量販店（営業担当）	来客数の動き	・月の前半はテレビ、洗濯機が思うように伸びなかったが、後半になり、来客数が増え、全般的には、前年と比較すると良くなりつつある。
乗用車販売店（従業員）		販売量の動き	・新型車の発売があったが、販売台数が予想以上に伸びない。	
乗用車販売店（従業員）		お客様の様子	・新型車が発売になり、来客数と販売量の増加を見込んでいたが、期待を下回っている。また、即決で購入する客は少なく、じっくり検討してから購入するという消費動向がうかがえる。	
乗用車販売店（管理担当）		販売量の動き	・新型車を発表したけど、来店客数が少ない。	
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・軽自動車の市場をみると、売上が前年比87%程度に減少している。		
その他専門店〔CD〕（店員）	来客数の動き	・目的買い以外で来店される客が減少しており、売上が伸びない。		
一般レストラン（経営者）	単価の動き	・新しいものや、珍しいものには反応がある。また、単価が安ければ、より反応が強くなる傾向が定着している。		

	都市型ホテル (経営者)	単価の動き	・単価の動きは低位のままで変化がなく、販売数も変わらない。愛知万博が終わることで、好転するかと期待していたが、あまり変化がない。
	タクシー運転手	来客数の動き	・昼の客が少ない上に、夜に飲みに出る人も少なく、乗車しても近距離が多いため売上が伸びない。また、今年は四国八十八カ所のお寺参りが少ない。
	設計事務所(職員)	販売量の動き	・販売量、受注量ともに、増加が見込めず、前年を下回っている。また、単価の低下もあり、採算も悪くなっている。競争相手も同様な傾向にあり、コスト削減の動きが活発である。
	その他住宅[不動産](経営者)	競争相手の様子	・土地の価格が低下し、買い需要は非常に少ない。その上、賃貸住宅への入居者が減っており、同業者間では暗い話が多い。
やや悪くなっている	一般小売店[生花](経営者)	競争相手の様子	・スーパーや八百屋などでも花がたくさん売られている。それに加えて、生産直売販売所も増えており、生花店では専門的な花や贈答品しか購入しない傾向がうかがえる。
	スーパー(財務担当)	販売量の動き	・既存店の売上高を3か月前の前年比でみると、98.9%が97.5%と1.4ポイント悪化している。
	コンビニ(店長)	販売量の動き	・ファーストフード関連やお弁当などは売上が少し伸びているが、来客数、販売数共に、前年を下回っている。
	乗用車販売店(従業員)	お客様の様子	・新車、中古車共に、昔のように即決で買うことがなく、客が値踏みをし、1週間ぐらい様子をみってから購入する傾向が見受けられる。
	タクシー運転手	単価の動き	・3か月前と比べると客単価、客数ともに減少している。
	通信会社(企画担当)	販売量の動き	・市場が飽和状態に近づいており、消費が低迷している。
悪くなっている			
企業動向関連	良くなっている		
	やや良くなっている		
	繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・百貨店、専門店での荷動きが少し上向きになってきている。海外からの低価格商品ではなく、多少高価格でも品質のよい国産品を求める消費傾向にある。
	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・電気機械、化学、電気材料関連の設備投資が少しずつではあるが、動き出した。特に電気材料関連は量産に向けての設備が盛んになっている。
	建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・製造業の設備投資意欲が回復し、工場の改修や倉庫の増設で、まとまった契約がとれた。
	通信業(営業担当)	それ以外	・温泉ホテル、旅館などへのシステム提案を実施するなかで、平日の予約数の増加など提案先企業の好調さがうかがえる。
	広告代理店(経営者)	受注量や販売量の動き	・原油価格高騰により、資材関係が値上がりしているが、受注は増加傾向にあり、売上の上昇が資材費の上昇をカバーできるようになった。
	公認会計士	取引先の様子	・今月の各社の決算や試算表の状況などをみると、前年比で若干プラスに改善されている企業が増えている。
変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・新商品の売上は増加してきているが、トイレットペーパーについては、依然として減少傾向である。
	一般機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・排ガス規制関連でのトラック需要の増加に伴い、トラック搭載型の小型クレーンの引き合いが活発になっている。大型クレーンについても、高年式車の代替需要に衰えは見られない。
	一般機械器具製造業(経理担当)	受注価格や販売価格の動き	・受注は、横ばいで原材料の高騰を製品価格に転嫁することができない。競合他社も同様に厳しい状況が続いている。
	金融業(融資担当)	取引先の様子	・主要産業である土木・建設業者が、公共工事の減少から引き続き振るわず、それに応じて、小売業なども好調とはいえない。
やや悪くなっている	輸送業(役員)	受注量や販売量の動き	・10月に入ってから、荷動きはますます悪くなっている。
悪くなっている	化学工業(営業所長)	受注価格や販売価格の動き	・IT関連などのごく一部の製品関係は荷動きが良いが、全体では非常に悪くなっている。

		通信業（支店長）	受注量や販売量の動き	・新商品の発売もなく、販売量がかなり減少している。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	求職者数の動き	・正社員雇用が増えており、派遣労働を希望する人の確保が難しくなっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・産業全般で伸びており、特に、医療・福祉、建設関係の増加が顕著となっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比で145.5%と大幅に増加している。産業別でみると、運輸業、卸売・小売業、サービス業で減少したが、ここ数年、求人申込がなかった事業所からの求人があるなど、特に製造業、情報通信業、医療・福祉業などの業種で大幅な増加となっている。また、パート求人も、前年同月比189.7%と大幅に増加し、月間有効求人倍率は前年同月比で8か月連続で増加している。
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	周辺企業の様子	・契約の更新や契約の途中終了が非常に減り、企業が、派遣の形態をそのまま継続する割合が、前年に比べて1～2割上昇している。
職業安定所（職員）		求職者数の動き	・前年よりは採用者数は増加しているが、求職者が活発に動くなどの変化はない。	
民間職業紹介機関（所長）		求職者数の動き	・求職登録者数は、前年比では微減で推移しており、現職での登録者はやや減ってきている。また、再就職支援の企業からの依頼も減ってきており、一部の業種を除き、リストラが落ち着いてきている。	
やや悪くなっている	-	-	-	
悪くなっている	-	-	-	